

目次

□巻頭言 港湾工事と作業船……………工藤 秀雄 / 1

むつ小川原港の概要……………桜井 正憲 / 3

セメントスラリーによる深層混合処理工法……………浦江 恭知 / 8
 —大黒ふ頭—12m岸壁地盤改良工事……………浦太 田 充 夫

スクリー式捨石均し船の試設計……………梶浦 春雄 / 16

フレクスibel (波形耳棧付ベルト)……………松尾 健司 / 20
 を利用した運搬設備の合理化……………松永 井 正 義

砂れき層における泥水シールド機の……………高橋 久 / 26
 施工例と問題点

グラビヤ—釜利谷地区開発工事

横浜市釜利谷地区開発工事における低公害土工……………鎌田 雅行 / 33
 小川 高 正 信

アスファルトセンターコア締切の施工……………笹川 栄志 / 39
 —御所ダム上流2次締切工事……………笹岡 田 輝 夫

□随想 私とトンネル……………小竹 秀雄 / 47

雪氷対策研究国際シンポジウム参加報告……………渋谷 満 / 50

□建設機械の現状

7. 舗装機械

7.1 アスファルト舗装機械……………倉田 保造 / 55

7.2 コンクリート舗装機械……………倉田 保造 / 59

8. 道路維持用機械および除雪機械……………本田 宜史 / 60
 佐々木 輝 夫

9. 作業船……………平山 勇 / 66

□新機種ニュース……………調査部会 / 73

□整備技術

オニックス社の機械管理システム……………整備技術部会 / 77

□ISO規格紹介

建設機械の安全性の必要条件および……………ISO部会 / 79
 居住性に関するISO標準規格(15)-1

□建設機械化研究所抄報 <<123>>

352. キャタピラー三菱 D5B DD型ブルドーザ…………… / 81

353. IHI 2軸強制練りミキサ DAM1500…………… / 82

ROPS 静载荷試験 (R-23~R-27)…………… / 82

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移……………調査部会 / 85

行事一覧…………… / 86

編集後記……………(平山・兼子) / 88

◀表紙写真説明▶

日立 UH 04-3 油圧ショベル

日立建機株式会社

本機は作業量と信頼性で実績のあるUH04をさらにグレードアップし、諸性能の充実とスタイル一新を図った新鋭機である。特に強力な掘削力と軽快なフロント操作による作業性能の向上、すぐれた機動性と踏んばりのきく大きな足回り、さらに通風性の改良と騒音の低減を図った快適な居住性など新しいユーザーニーズを盛り込んだ油圧ショベルである。

◀主要仕様▶

全装備重量……………	10.8 t
バケット容量……………	0.15~0.5 m ³ (標準 0.4 m ³)
最大掘削半径……………	7,250 mm
最大掘削深さ……………	4,520 mm
最大ダンプ高さ……………	4,840 mm
走行速度……………	2.7 km/hr
最大掘削力……………	5.7 t